

環境に最も優しい容器として見直されている /

## リターナブルびんがSDGsな未来に向けて、活用エリアを拡大中!

Returnable

「プラスチックごみの削減」や「サステナブル」といった社会の大きな流れの中で、何度も繰り返し使うことができるリターナブルびんが再び注目されています。一般的には飲食店での一升びん・ビールびんや宅配の牛乳びんなどでの利用がよく知られていますが、近年では環境意識の高まりから高級ホテルやレストランなどでの展開もじわじわと増加傾向にあるようです。そんな環境に最も優しい容器として見直されているリターナブルびんの活用事例をご紹介します。



### 富士ボトリング株式会社の初の自社ブランド

#### 「リターナブルびん ミネラルウォーター 足柄聖河」/360ml

ホテルや旅館、カフェ・レストラン、バー・ラウンジなどラグジュアリーな雰囲気にも溶け込むミネラルウォーター

日本ガラスびん協会は、様々なブランドの受託製造を請け負っている富士ボトリング社と連携し、2022年からリターナブルびんの価値を再発見・再定義する活動「SO BLUE ACTION」を展開しています。活動内容はさまざま、リターナブルびんの理解と利用促進に関わる施策を、時には企業や大学と連携しながら、幅広く多角的に実施しています。「足柄聖河」が採用された、都内大学との産学連携「be draw project」は、学生主体の自主ゼミとして取り組まれており、リターナブルびんの利用によって削減できるCO2量の可視化を試みたプロジェクトとなっています。

◆ <https://fujibottling.co.jp/ashigaraseiga/>

### 株式会社JR東日本クロスステーションウォータービジネスカンパニー

#### 「From AQUA リターナブルびん」/340ml

ホテルの客室やレストランを中心に展開されている業務用ミネラルウォーター

持ち歩きたくなくなる水「From AQUA」から、ホテルや飲食店など持ち歩かない飲用シーンに着目した「リターナブルびん商品」が2021年に誕生しました。びんの回収計画がしやすく、高い回収率が見込めることなどがガラスびん採用の決め手となったそうです。採水地である谷川岳の「ノ倉沢」をモチーフにしたデザインは、シンプルでどんな空間にも似合うように仕立てられています。

◆ <https://www.acure-fun.net/products/fromaqua/>



### 株式会社遠藤青汁高知センターより、リターナブルびんに入った「青汁生ジュース」「豆乳青汁」「りんご青汁」シリーズ/各90cc

お家利用での広がりも! 宅配専用商品の青汁ドリンク

「青汁」の生みの親である遠藤仁郎医学博士が考案した「遠藤青汁」シリーズは生の新鮮なジュースのため、エリアを限定し職場や家庭へ配達されています。可愛らしい小びんに入った青汁には、生の栄養がたくさん詰まっており、地域の人々の健康を日々サポートしています。

◆ <https://aojirukochi.co.jp/>  
☎ 0120-44-7758